

令和6年度 保育内容等の自己評価

みつばち第二こども園

保育内容について自らの保育実践を振り返り自己評価を行いましたので、その結果下記の通り報告いたします。

*29名が自己評価を行い、評価内容を一部抜粋し一番多かった評価を載せています。

*クラスによって評価内容が異なります。

十分できている【4】 ほぼできている【3】 やや不十分である【2】 不十分である【1】

評価内容	評価
保育の基本理念	
・子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると意識しているか	4
・子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し楽しんでいるか	4
保育の内容（乳児保育）	
・離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人一人の育ち具合やその日の体調に合うよう工夫しているか	4
・子どもを外気にふれさせたり適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進をはかるようにしているか	4
・一人一人の生活リズムの欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したり柔軟性を持ち合わせているか	4
保育の内容（1・2歳児保育）	
・着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばがけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしているか	4
・好奇心や興味を引き起こす教材や素材、場を用意する心配りをしているか	4
・散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子どもとともに自然物や動物への興味関心を持つことを大切にしているか	4
保育内容（3歳以上児保育）	
・子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて、信頼関係を作る努力をしているか	4
・日常生活でのしぐさをよく観察して、行動や身体の異常などの早期発見に努めているか	4
・「食育」活動の一環として調理をしているところを子どもたちに見せたり、食材や食事に興味関心を持つようにしているか	3
・子どもがいろいろな楽しさを味わうため、散歩など戸外に出かける機会を積極的に多く取り入れているか	4
・自己を表現する力や相手のいう事をきく姿勢がもてるよう、それぞれの立場や気持ちをくみ取った仲立ちをしているか	4
・遊びの中で子どもたち自らが試行錯誤しながらつくっていくルールを、大切に見守ることができるか	4
・庭や散歩で拾ってきた木の葉・木の実など、いろいろなものを比べたり調べたりして、自然の不思議さや面白さを子どもたちと共感するとともに、物の性質や数・量などに対する興味を育てているか	4

・子どもが自由に取り出して遊べるよう、遊具・用具などの構成を整え、その量や補充について工夫しているか	3
・子どもが登園してきたとき、いつもさわやかに挨拶をし、その時々に必要な言葉をかけるようにしているか	4
・子どもが話しかけてきたとき、その内容や結論がわかっているにもかかわらず、ゆっくり話を聞いて会話したい気持ちを満たし、言葉で伝えあう場を大切にしているか	4
・子どもが感じたままを作品や動きなどで表現していることをくみとることができるか	4
・友だちとの合奏が、一人で楽器を鳴らすこととは違った楽しさもあることを体験できるようにしているか	4
・子どもたちの遊びに、身体を使った様々な表現遊びを多く取り入れているか	4
・「行事」が子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけているか	4
保健活動・安全管理	
・睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めているか	4
・食物アレルギーの子どもに対して、適切な対応をしているか	4